

令和4年度
川崎市立小学校養護教諭研究会 講演会 研修会

「養護教諭が行う救急処置と適切な対応」

令和4年7月20日（水）配信会場：川崎市立戸手小学校
講師：日本体育大学 保健医療学部 救急医療学科
救急救命士/博士（医学）准教授 鈴木健介先生

◎救急処置を行う際に共通する「第一印象」→「初期評価」を
しっかり行うことが重要となる。



初任者を含む約35名の会員が配信会場に集まり、その他の会員はオンラインで参加をするというハイブリット型にて行いました。研修会では「第一印象」「初期評価」の大切さについて実技を交えながら学び、養護教諭として保健室で行う救急処置に欠かせない対応や判断について再度、確認をいたしました。

◎受講者の声◎

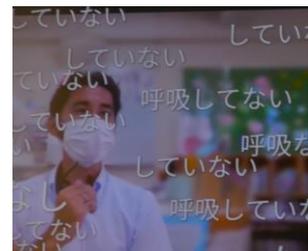
救急車を要請する際の必要な情報を教えていただき資質向上につながったと思った

オンライン会員とチャットにて呼吸の確認を行った

記録をとることの大切さを感じた。職員研修でも取り入れたい

自分自身の訓練と子どもへの安心感を与えるスキンシップの大切を改めて実感した

緊急度の判断、バイタルチェックの重要性、普段の保健室来室児童で実践することの大切を学んだ



自分の中で緊急事態モードをいかに早くスイッチオンするか、迅速に対応できるように日頃から緊急体制をしっかりと整えておく必要が大切だと感じた。



集合型会員は二人一組でバイタルサイン確認を行った